

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	The prognostic significance of ulceration of cutaneous melanoma.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ8-7	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	7388745	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	45	
	号	12	
	ページ	3012-7	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1980 Jun 15	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Balch CM	University of Alabama Medical Center
	その他著者 1	Wilkerson JA	同上
	その他著者 2	Murad TM	同上
	その他著者 3	Soong SJ	同上
	その他著者 4	Ingalls AL	同上
	その他著者 5	Maddox WA	同上
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
	その他著者 10		

一次研究の 8 項目	目的	原発部の潰瘍の深さ/広さと生存率の関係を調べる	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	University of Alabama Medical Center	
	対象者	過去 20 年間のデータベースに登録された 500 人以上の患者のうちデータが使用可能な 250 人	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	Tumor thickness、潰瘍の深さ、潰瘍の広さ	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	死亡	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	潰瘍が存在する割合は tumor thickness0.76mm 未満の症例で 12.5%、tumor thickness 4mm超の症例で 72.5%であった。潰瘍が存在すると 5 年生存率は stage I の患者で 80%から 55%に減少し、stage II の患者で 53%から 12%に減少する ($p<0.001$)。 潰瘍の深さの中央値は 0.08mm であった。潰瘍の深さが 0.2mm 以上の症例はもともとが tumor thickness の厚い症例なので、潰瘍の深さを tumor thickness に加えて stage をマッチさせた症例と比較検討しても生存率に影響が認められなかった。 潰瘍の広さについては、潰瘍のない場合 5 年生存率が 74%、0.1mm から 6mmまでの場合 5 年生存率が 44%、6.0mm以上の場合 5 年生存率が 5%であり、有意な相関が認められた。	
	結論	潰瘍は生存率に重要な影響を与えるので、臨床試験の基準に採用したり悪性黒色腫治療の結果解析時に考慮されるべきである。	

	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	古賀弘志
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ）